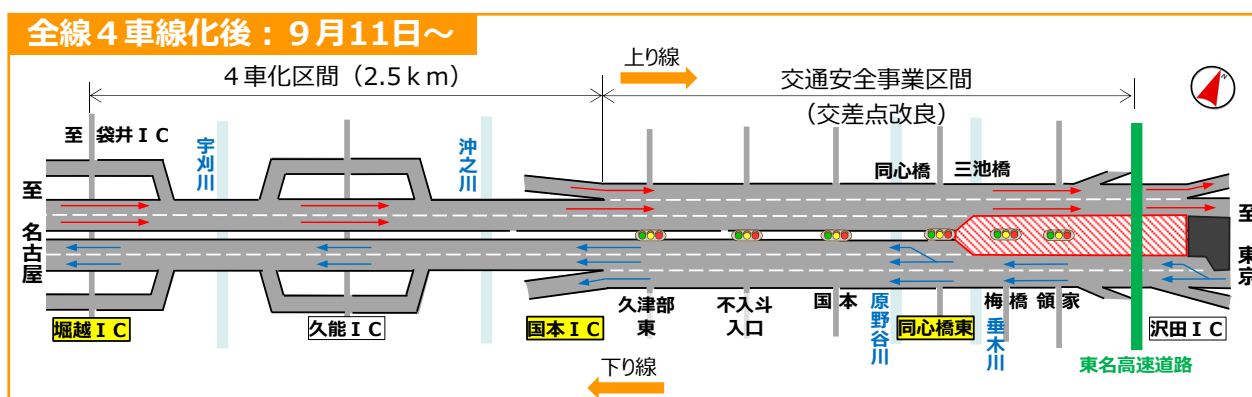
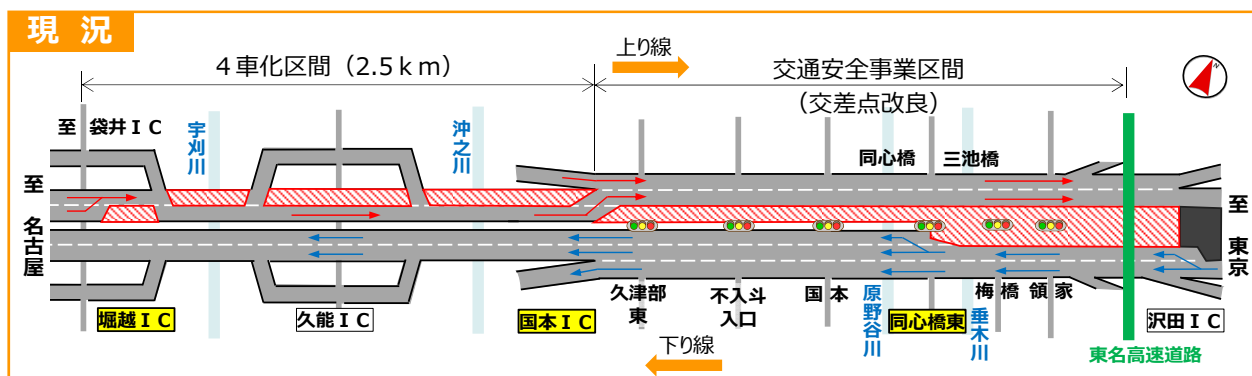


国道1号 袋井バイパス 通行形態について

- 平成27年8月10日に下り線（名古屋方面）の久能IC～同心橋東交差点間が開通しました。
- この度、平成27年9月11日に上り線（東京方面）の堀越IC～国本IC間の2車線化と国本IC～同心橋東交差点間の3車線化開通します。

■ 国道1号袋井バイパスの通行形態



※梅橋交差点～沢田IC間はH27年度内完成を目指し、引き続き工事を推進いたしますので、御協力をお願いします。

凡例： 工事作業範囲



⇒ 4車線開通後は、上り線も下り線と同様に、スムーズな交通の確保が期待されます。

事業概要

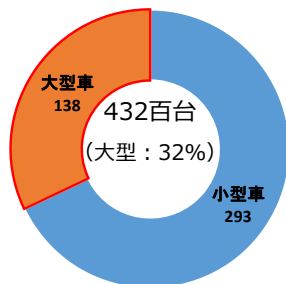
国道1号 袋井バイパス

期待される効果 ①

【定時性・速達性を担保します】

- 袋井バイパスは地域の日常交通及び物流交通を支えています。現在慢性的な渋滞が発生し、地域の交通を阻害しています。
- 今回の開通により、所要時間が13分短縮（上り：東京方面）するなどの渋滞解消が期待され、地域交通の円滑化に貢献します。

■ 袋井バイパスの交通量



交通量データ：実態調査（H25.10.28）

堀越IC周辺渋滞発生状況（下り線：名古屋方面）
（平成27年8月撮影）



【堀越IC周辺】

⇒車線絞込み（4車⇒2車）による渋滞が発生

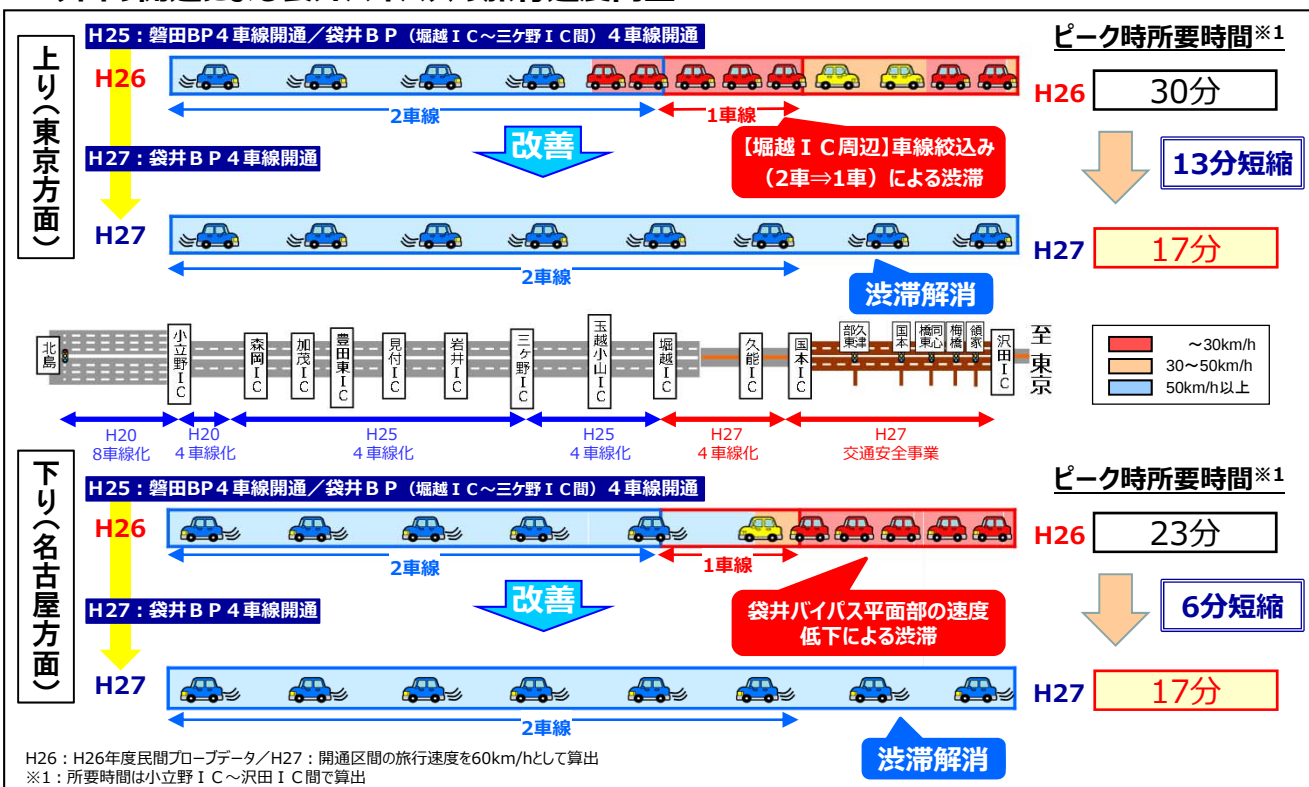
国本IC周辺渋滞発生状況
（平成27年8月撮影）



【国本IC周辺】

⇒大型車が多く流入し、速度低下が発生

■ 今回の開通による袋井バイパスの旅行速度向上



■ 袋井バイパスの道路利用者の声（袋井商工会へのヒアリングより）

- ◆ 袋井バイパス上り線（東京方面）の堀越ICから慢性的に渋滞が発生しており、物流・営業や通勤関係の利用者などは、渋滞を見越して余裕時間を見ていたり、堀越ICを下りてその他の路線を利用していました。
- ◆ 袋井バイパスが4車線化することにより、交通利便性が向上し、土地の利活用も含めて、地域の経済活動、物流や農業に関しても活性化につながると期待しています。



国道1号 袋井バイパス

期待される効果 ②

[地域の経済活動を支援します]

- 袋井バイパスの整備とともに、袋井市のDID※地区は約1.9倍となるとともに、企業・施設立地が進み、国道1号は地域の社会経済活動を支えてきました。
- 今回の開通により、地域間の連携が強化され、国道1号の利便性がさらに向上することで、今後の袋井市の更なる企業や商業施設の開発など、地域活性化を支援します。

※DID地区（人口集中地区）とは・・・1)原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、2)それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有するこの地域

■ 国道1号沿線の企業立地と国道1号の地域経済活動への貢献

■ 国道1号袋井バイパス開通前の地域の開発動向（昭和56年以前）



■ 国道1号袋井バイパス開通に伴う沿線の開発動向の推進（昭和56年以降）



[4車線化開通によって、袋井市の交通利便性が向上]

⇒袋井市内の更なる開発の促進等、地域活性化の促進が期待される。

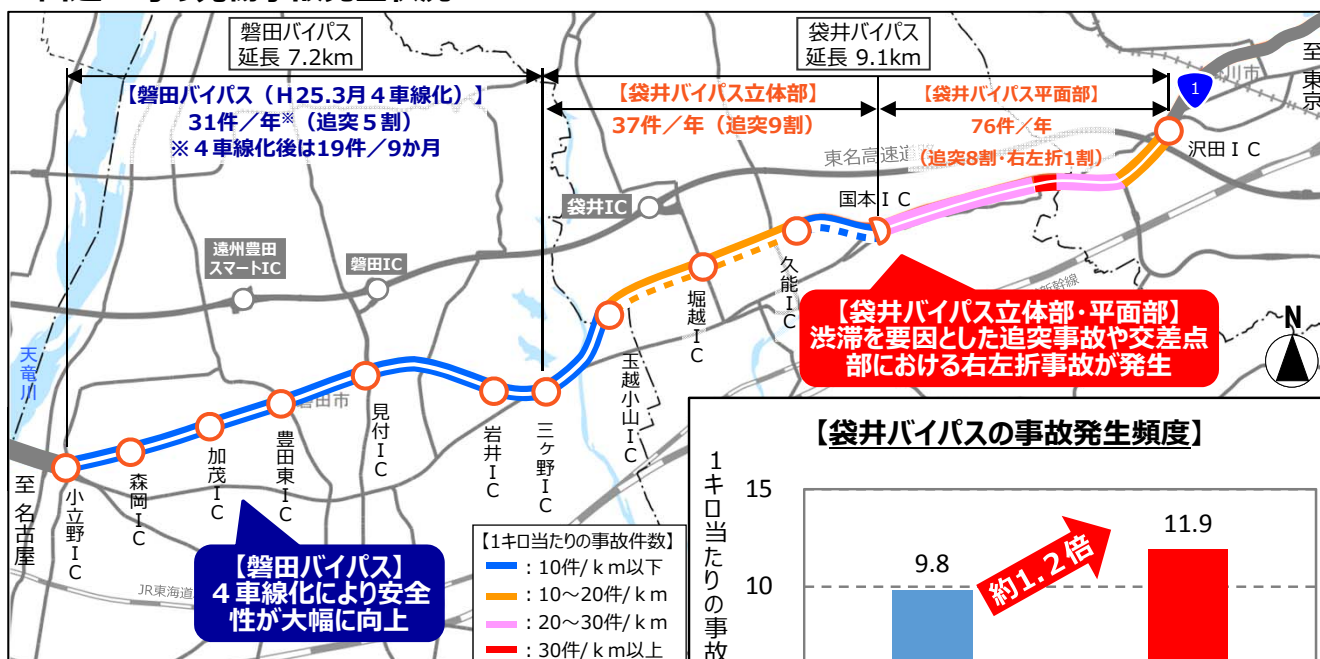
国道1号 袋井バイパス

期待される効果 ③

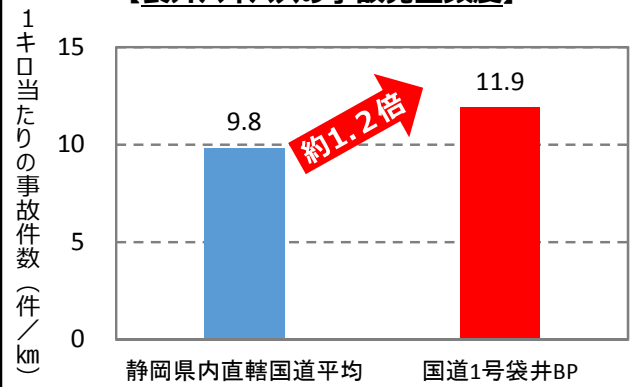
【交通事故を削減します】

- 国道1号袋井バイパスでは、渋滞等に起因した追突事故が多発するなど、安全性に課題があります。
- 今回の開通により渋滞が解消され速度低下に起因する追突事故の減少など安全性が向上し、磐田B Pの4車線化で発現した大幅な死傷事故の削減（約7割削減）が期待されます。

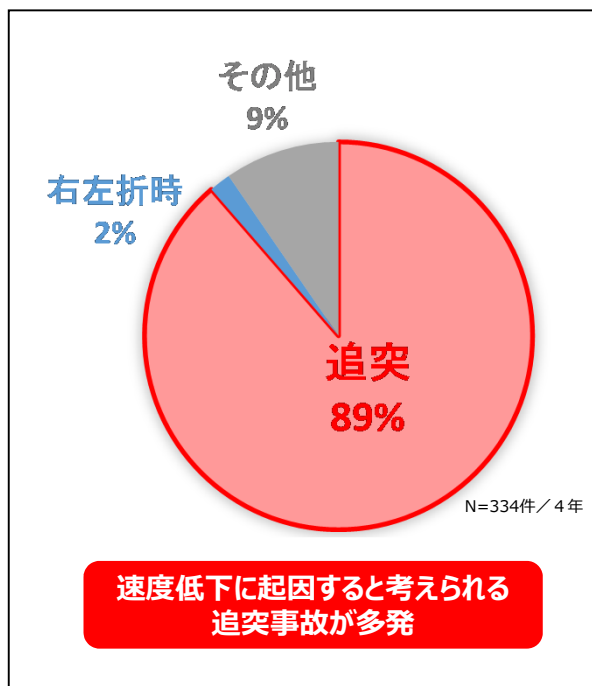
■ 国道1号の死傷事故発生状況



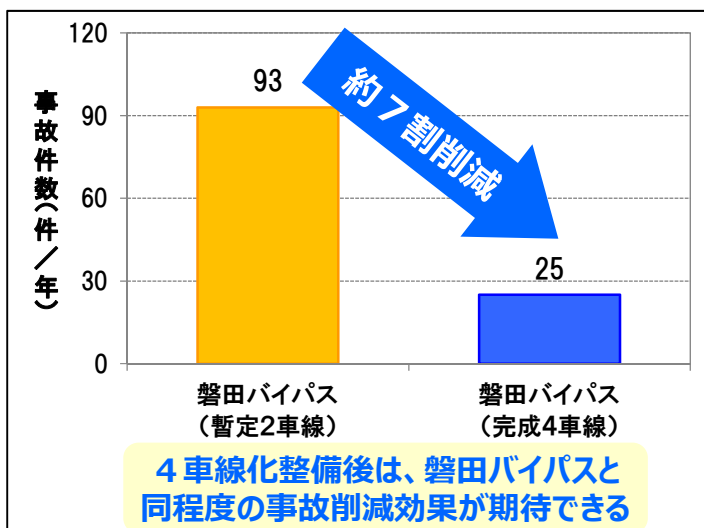
【袋井バイパスの事故発生頻度】



■ 袋井バイパスの事故類型



■ 磐田BP 4車線化による事故削減効果



ITARDA事故データ：平成22年1月1日～平成25年12月31日

暫定2車線時 ITARDA事故データ：平成23年1月1日～平成23年12月31日
完成4車線時 ITARDA事故データ：平成25年4月1日～12月31日※
※上記期間内の事故件数を年間値に拡大

国道1号 袋井バイパス 期待される効果 ④

[救急活動の効率化]

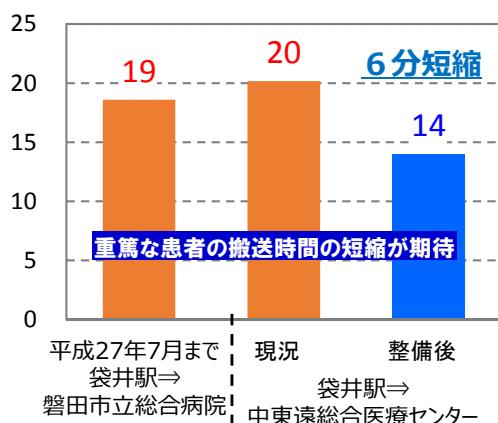
- 4車線化による、スムーズな通行の実現により、救急医療の圏域が拡大、重篤な患者の搬送時間の短縮及び救急医療施設の選択が可能となり、市街地（袋井駅）から中東遠総合医療センターへの搬送時間は約6分の短縮が期待されます。
- 救急活動の現場からも、4車線化による救急活動への貢献を期待する声が挙がっています。

■袋井B P 4車線化前後における救急医療施設20分圏内の変化



現況：H26年度民間プローブデータ / 4車線化後：H26年度民間プローブデータ（袋井バイパスの旅行速度を60 km/hとして算出）

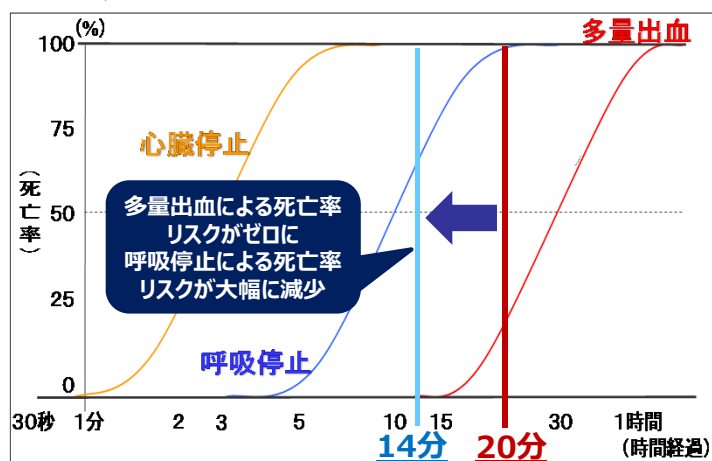
■袋井駅～病院への所要時間（平日：7時台）



H26年度民間プローブデータ

※ 4車線化後は袋井バイパスの旅行速度を60 km/hとして算出

■旅行速度向上による死亡率減少効果の可能性



カーラーの救命救急曲線より

■沿線医療関係者の声

- ◆ 袋井バイパスの上り線（東京方面）が堀越ICから1車線の状態で、渋滞が発生し、中東遠総合医療センターに搬送するのに時間がかかっている。
- ◆ 事故現場に向かう大型の救急車両等が渋滞にはまり、時間がかかっている。
- ◆ 袋井バイパスが4車線化されれば、出動時間・搬送時間が短縮されるため、救急活動をするうえで助かります。（磐田消防署）

